

学校教育目標	「豊かな心と自ら学び続ける力を持ち、すこやかに生きる子の育成」 ～のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子～ ○ 自らの課題を解決するために主体的に取り組む子を育てます(知) ○ 自他の存在を尊重し、ともによりよく生きようとする子を育てます(徳) ○ 自他の生命を大切にし、健やかな心と体をつくる子を育てます(体) ○ まちに学び、まちとのふれあいを大切にします(公) ○ 人や自然、文化に進んで関わり、広い視野で考える子を育てます(開)				
	創立 45 周年 児童生徒数: 482 人	学校長 板橋 典子 主な関係校: 新田中学校、早渕中学校	副校長 金子 京子	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	新田中学校 新田小学校 新吉田小学校 綱島小学校	「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子 小中学校間の連携を深めることにより、義務教育9年間の学習指導と生活指導の円滑な接続ができるようにする。

中期 取組 目標	○子どもが主役の、みんながともに学び、伸びていく学校づくりを進めます。 ・子ども一人ひとりが自分のよさを発揮できる学習を展開し、授業を通して学力の向上とともに何でも言い合える人間関係を築きます。 ・縦割り活動や音楽の交流等、異学年交流に力を入れ、自己有用感や互いに思いやる心を育みます。 ・地域や外部の教育力を活用するとともに、まちを愛する気持ちを育てます。 ・職員個々が自分の持ち味や力量を生かして学校づくりをしていくとともに、互いに高め合う職員集団づくりを進めます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>のびていこう</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	のびていこう	①重点研究を通して、授業を見合い、指導力の向上に生かす。②学年で教材研究を行い、授業展開の工夫等を共有し、主体的に問題解決していく力を育成する。③スキルタイムなどを活用し、児童の実態に合わせた意図的・計画的な取り組みを通して、学習内容を考え、基礎基本の定着を目指す。
知	授業改善				
担当	のびていこう				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>人権教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権・福祉</td> </tr> </table>	徳	人権教育	担当	人権・福祉	①教育全体を通して人権教育を行い、自他を大切にする心情と態度を育てる。②異学年交流を通して相互理解を深めるとともに、自尊感情を高める。③人権週間等、全校で人権意識を高める教育活動を計画的に行う。
徳	人権教育				
担当	人権・福祉				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育	①内発的なやる気を大切にし、互いを認め合い、励まし合って運動の楽しさや喜びを味わい、運動に親しむようにする。②運動の楽しさや喜びを味わう体験を生かし、自分の生活に運動を取り入れ、健康で安全な生活をしようとする姿を目指す。
体	健康教育				
担当	体育				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>自分づくり教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究推進</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育	担当	研究推進	地域の材や外部の教育力を活用し、人とつながり、体験的に学ぶ活動を積極的に取り入れる。これらの人との関わりや体験的な活動を教育課程に位置づけ、他教科の学びを総合的に生かしながら、豊かに伝え合い、自分のできることや将来の自分について考え、行動できる力をはぐくむ。
公開	自分づくり教育				
担当	研究推進				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策	①日頃より児童の様子に目を配り、いじめの未然防止と早期発見を心がける。「YPアセスメント」「生活アンケート」を活用し、児童理解と具体的な指導、支援を実践する。②「いじめ防止委員会」「職員会議」を通して、情報共有を徹底する。組織として当該児童に寄り添った迅速な対応に努め、解決を図る。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務	①日々の指導に生かせるメンター研修を月1回計画し、指導力の向上を図る。②重点研究や校内研修を意図的・計画的に実施し、授業力・教師力の向上を図る。③ICTを活用することで事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、会議や行事などの精選を行い、働き方改革を進めていく。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援	①子ども一人一人の教育的ニーズの把握に努め、丁寧な支援を行う。また、研修を通して、支援方法について常に見直し、実践に生かす。②職員間で情報共有し、関係機関との連携を図る。生活や学習上の困難を改善できるよう組織として一貫性のある対応をとり、児童、保護者と良好な関係を築く。
特別支援教育					
担当	特別支援				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童生徒指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	児童指導	①児童のよさに目を向け、最大限の力を発揮できるよう児童に寄り添った指導、支援に努める。②横浜プログラムを継続的に活用し「自分・仲間・集団」づくりを進める。心のケアにも取り組んでいく。③学校スタンダードを理解し、一貫性のある指導を行う。常に検討し、よりよい学校スタンダードを作り上げる。
児童生徒指導					
担当	児童指導				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務	①生活科・総合的な学習の時間を中心に地域の材や教育力を活用できるよう、各学年の年間指導計画に地域と連携した学びを位置づける。②開かれた学校づくりに努め、地域の材を生かし、人々と交流をしながら体験的に学ぶことができる機会を増やすとともに、様々な交流の仕方についても工夫していく。
地域学校協働活動					
担当	教務				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">a15</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	a15		担当		a25
a15					
担当					